

新フェローの紹介

阿部 俊一 (あべ しゅんいち) 氏

昭和6年6月7日生れ

〔現住所〕 東京都小平市上水本町1300—14

〔学歴〕 昭和31年3月 東京大学理学部数学科卒業

昭和46年11月 理学博士

〔職歴〕 昭和31年4月 旧日本国有鉄道入社

昭和32年1月 同 鉄道技術研究所勤務

昭和36年4月 同所計画管理研究室主任研究員

昭和52年2月 同所同研究室室長

昭和55年11月 同所輸送システム研究室室長

昭和58年4月 日本国有鉄道退職

昭和58年4月 青山学院大学教授 理工学部経営工学科 (統計解析および信頼性工学担当)

〔OR学会関係〕 昭和47～49年度 編集委員

昭和55～56年度 論文誌編集委員

昭和57年度 評議員

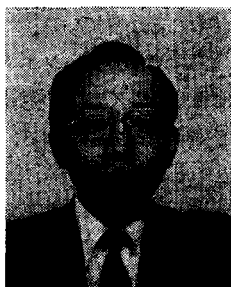
昭和58～59年度 信頼性・安全性研究部会主査

昭和59～60年度 理事 (論文誌編集委員長)

昭和61年度 評議員

〔著書等〕 フェラー: 『確率論とその応用 I 上, 下』 (共訳, 紀伊国屋書店, 1960, 1961), 『システム信頼性解析法』 (日科技連出版社, 1987), 他にハンドブック等の分担執筆4件, 論文12編, 研究報告等28編, 総合報告・解説文献等33編, 口頭発表31件

阿部氏は, 旧鉄道技術研究所において, 20数年にわたり, 一貫して信頼性・安全性・安全性問題の研究にたずさわり, 現場のニーズにもとづいた問題解決のために, いくつかの新しいモデルを提案し, 新しい解析法を開発してこられました。これらの成果は, 同氏の労作『システム信頼性解析法』(日科技連)にまとめられています。今後は大学における研究と後進の指導が期待されています。同氏はまた, 本学会では, 長年, 論文誌編集の幹事, 委員, 理事として同誌の内容充実に尽力してこられました。



伊理 正夫 (いり まさお) 氏

昭和8年1月7日生

〔現住所〕 東京都文京区本郷4—20—1—201

〔学歴〕 昭和35年3月 東京大学大学院数物系研究科応用物理学専門課程修了 工学博士

〔職歴〕 昭和35年 九州大学助教授 工学部通信工学科

昭和37年 東京大学助教授 工学部計数工学科

昭和48年 東京大学教授 同学科

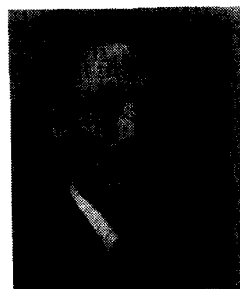
昭和61年 東京大学評議員

昭和62年 東京大学工学部長, 評議員, 大学院工学系研究科委員長, 現在に至る。

〔OR学会関係〕 理事 (研究普及) 昭和50～51年度 理事 (論文誌編集委員長) 昭和55～56年度 副会長 (表彰委員長) 昭和59～60年度 評議員 昭和53～現在に至る。

〔著書等〕 線形計画法 (白日社, 1972), ベクトルとテンソル (教育出版, 1973), ネットワーク理論 (共著, 日科技連, 1976), 生きている数学—数理工学の発展(共著, 培風館, 1979), グラフ・ネットワーク・マトロイド (共著, 産業図書, 1986), 計算幾何学と地理情報処理 (監修, 共立出版, 1986) 他著書8冊, 訳書8冊, 編集 (講座・シリーズ・選書) 5編, 論文178編, 講演・口頭発表67件。

伊理氏は数理計画法, グラフ理論, ネットワーク理論, マトロイド理論等の分野の研究において顕著な業績を上げられるとともに, ORの啓蒙普及にも長年指導的役割を果たしてこられました。また長年にわたり本学会の役員, 委員を歴任され学会運営の重要な中核としてご活躍いただいております。さらに国際的にも IFORS (国際OR学会連合) の副会長 (1983～1985), MPS (数理計画学会) の理事 (1985～1988), 国際的な学術雑誌11誌の編集委員もつとめ, また多くの国際的学術集会の組織・運営にも関与してきておられます。



坂口 実 (さかぐち みのる) 氏

大正15年3月27日東京生れ

〔現住所〕 大阪府豊中市緑丘3-26-4

〔学歴〕 昭和25年3月

東京工業大学卒業(数学コース), 同大学大学院特別研究生

昭和37年 理学博士

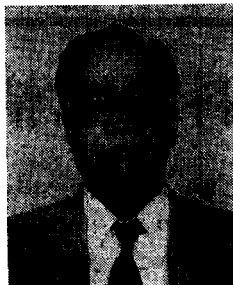
〔職歴〕 電気通信大学講師・助教授を経て, 在米研究生活2年ののち, 昭和40年 大阪大学基礎工学部教授現在に至る。

〔OR学会関係〕 理事 昭和43~44年度 刊行物委員 昭和45~46年度 評議員 昭和42~62年度 関西支部副支部長 昭和58年度 関西支部長 昭和59~62年度

〔著書等〕

数理計画法(培風館, 1968), 動的計画法(至文堂, 1968), ゲームの理論(森北出版, 1969), 経済分析と動的計画(東洋経済新報社, 1970), 研究論文101編

坂口氏は決定理論, ゲームの理論, 情報理論, 動的計画法などの分野において顕著な研究業績をあげられるとともに, わが国におけるデシジョンサイエンスの理論的研究の発展に指導的な役割を果たされ, 一本立ちできる優秀な若手研究者を多数養成されてされました。



福田 治郎 (ふくだ じろう) 氏

大正2年10月29日岐阜県生

〔現住所〕 岐阜県本巣郡真正町上真桑本郷272の1

〔学歴〕 昭和10年3月広島高等師範学校理一(数学科)卒業 工学博士(東京大学)

〔職歴〕 昭和18年・岐阜工業専門学校助教授

昭和24年 岐阜県立大学工学部助教授

昭和29年 岐阜大学工学部助教授

昭和42年 広島大学工学部教授

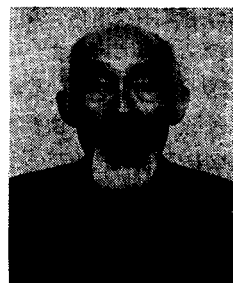
昭和44年 岐阜大学教授

昭和46年 岐阜大学工学部長

昭和52年 愛知大学経営学科教授

〔OR学会関係〕 評議員 昭和42~56年度 中部支部長 昭和49~51年度 中部支部運営委員 昭和49~56年度

〔論文著書〕 待ち行列理論, 信頼性理論, その他論文



39編. 「応用統計入門」「応用数学便覧上下」他

福田氏は, 永年にわたって待ち行列理論, 信頼性理論とその応用の研究に関して優れた業績を挙げられるとともに, ORの教育・普及にも尽力してこられました。また本学会の活動, 特に中部支部の運営に関しては, 役員として幾多の貢献をいただいております。

古瀬 大六 (こせ たいろく) 氏

大正6年6月26日生

〔現住所〕 横浜市旭区善部町37-38

〔学歴〕 昭和15年3月 東京商科大学卒業(経営経済学専攻)

昭和36年11月 商学博士(一橋大学)

〔職歴〕 昭和15年 海軍主計科二年現役士官

昭和21年 東芝本社経理部主計科

昭和25年 小樽商科大学講師

昭和27年 同助教授

昭和34年 同教授

昭和38年 同付属図書館長

昭和48年 横浜国立大学経営学部教授

昭和49年 東北大学経営学部教授

昭和56年 南山大学経営学部教授, 現在に至る。

〔OR学会関係〕

学会設立当時より連続して会員。北海道支部設置に当る。小樽商科大学に日本最初の管理科学科を創設, その後の商学系学部におけるOR教育普及の基礎を築く。

〔著書等〕

“Solutions of Saddle Value Problems by Differential Equations”, *Econometrica*, Jan. 1956.

分権的管理の基礎理論(日本経営出版会, 1969)

数理計画法I(情報科学講座A・3・2, 共立出版, 1971)

その他著書および論文等約80点。

古瀬氏は終戦直後よりいち早く, 数理計画法が企業の分権的管理および自由競争経済システムの理論的基礎づけとして有効であることに着目し, 多くの論文を発表されると同時に, 線形計画問題を解くアナコンも製作されておられます。また商学部系におけるOR教育の創始者として, さらに日科技連等を通じて初期のOR普及活動に果たされた役割は高く評価されております。

